

たとえライセンスを
失おうとも…

ティモシー・ダルトン
JAMES BOND 007TM

消されたライセンス

■東京国際映画祭オープニング作品

9月30日(金)よりロードショー

TIMOTHY DALTON
JAMES BOND 007TM
LICENCE TO KILL

Line Logo: Trademark © 1982, Universal, U.S.A. and British Artists Company. © 1988, Universal, U.S.A. and British Artists Company. All Rights Reserved. Distributed by M&M 18 Distribution Co.

UP&L



「007」ナンバーは任務の遂行において、
私に与えられている殺しの許可証のことだ。
私のやる汚い仕事は、
政府でさえも何も知らないのだ

ジェームズ・ボンド

ボンドはいつも「007」のコード・ナンバーの下、属する諜報機関の為、愛するイギリスの為、この日どれほどの敵と渡り合ってきたことだろう、どれほどの危機を乗り越えて来たことだろう。“この日”とは、ボンドの親友でCIA エージェントのフェリックスが、こともあろうに彼の結婚式のその夜、マイアミの自宅で新妻を殺され、自身も半身不随の重傷を負わされる事件が起きた日のことだ。ボンドには本部の「M」から新たな任務が発令されていた。だがボンドは親友の仇を討つべき、Mの命令を無視した。自分のやり方で犯人を追いかける決心をしたのだ。黒幕は麻薬で稼いだ富を桶に、中南米の一国を牛耳るほどの影響力を持つ億万長者のサンチェスだ。イギリスからMがあわてて飛んで来る。サンチェス逮捕はアメリカの国内問題だから手を出すな、とボンドに忠告する。だが固く心に復讐を誓ったボンドは忠告を拒絶する。Mは最後の手段として遂にボンドの持つ特権である殺しのライセンスを取り消すと宣告した。この瞬間から、この日からボンドの身分は単なる市民となったのだ。頼るは隠し持った愛用の銃ワルサー PPK だけ。今、ボンドの孤独な旅が始まった…



主演のジェームズ・ボンドには、本作が2度目のボンド役となるイギリスの名優ティモシー・ダルトン。前作「リビング・デイライツ」以前のキャリアは実に凄く、ピーター・オートゥール、キャサリン・ヘップバーンとの共演による「冬のライオン」。サー・アレック・ギネス、リチャード・ハリスとの「クロムウェル」、ヴァネッサ・レッドグレイブ、グレンダ・ジャクソンとの「クイン・メリー」愛と悲しみの生涯、アンナ・カルダー・マーシャルとの「嵐が丘」等々がある。しっかりした演技力の裏付けは、今作の友情の為に栄光の00ライセンスを捨てる男の哀しみを見事に演じ切っている。



億万長者で麻薬王サンチェスにはロバート・デヴィ。その独特な風貌は一度見たらなかなか忘れ難い強い印象を残す。



ボンドに絡む2人の美女、キャリー・ロウエルとタリサ・ソト。キャリーは、現在アメリカの主要なファッション・モデルの一人で、かつハリウッドで期待される若手女優でもある。彼女の役は、元陸軍のパイロットでCIAのエージェントとしてボンドを助ける。タリサは前ミス・ギャラクシーに選ばれたキャリアを持ち、本作では悪人サンチェスの愛人を演じる。

▼キャスト

ジェームズ・ボンド……ティモシー・ダルトン
 バム・アービー……キャリー・ロウエル
 フランツ・サンチェス……ロバート・デヴィ
 ルバ・ラモラ……タリサ・ソト
 ミルトン・クレスト……アンソニー・サーフ
 シャキー……フランク・マクレー
 キリファ……エベレット・マックギル
 ジョー・ブッチャー……ウェイン・ニュートン
 ダリオ……ベネキオ・デル・トロ
 トルーマン・ロッジ……アンソニー・スターク
 ロベス大統領……パドロ・アルメンダリス
 Q……デスモンド・レウエリン
 フェリックス……デビッド・ベティソン
 テラ・チャーチル……アリシラ・バーンス
 M……ロバート・ブラウン
 ミス・マナーベニー……キャロライン・プリス

▼スタッフ

製作……アルバート・ブロッコリ
 脚本……マイケル・G・ウィルソン
 監督……ジョン・グレン
 脚本……マイケル・G・ウィルソン
 脚本……リチャード・メイボーム
 プロダクション・デザイナー……ピーター・ラモント
 撮影……アレック・ミルス
 音楽指揮……マイケル・カーメン



ティモシー・ダルトン
 JAMES BOND 007
 消されたライセンス

冒30(土)音巻ロードショー
 特別鑑賞券(一般¥1300/学生¥1100/ペア券¥2300)発売中!

伊勢丹前 シネ・タウン
 新宿スカラ座 03 (351) 3127